

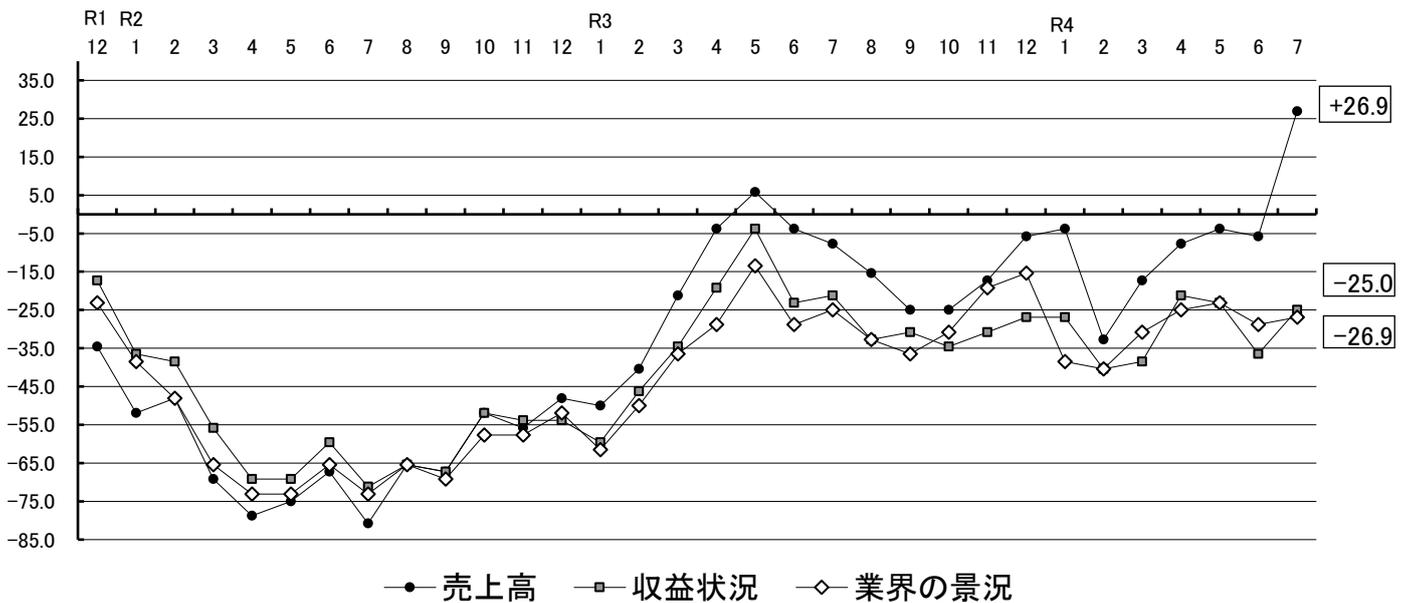
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和4年7月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標は全て上昇した。
- 製造業で「鉄鋼・金属」、非製造業で「小売業（飲食業含む）」が依然として厳しい。
- 好転傾向にあるが、原材料等高値安定の状態が続いており、予断を許さない状況である。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	+26.9	+32.7	-5.3	-5.2
収益状況	-25.0	+11.5	-35.3	-6.0
業界の景況	-26.9	+1.9	-30.1	-6.5

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より32.7ポイント上昇し、+26.9ポイントとなった。全国においては、前月より5.2ポイント下降し、-5.3ポイントとなった。

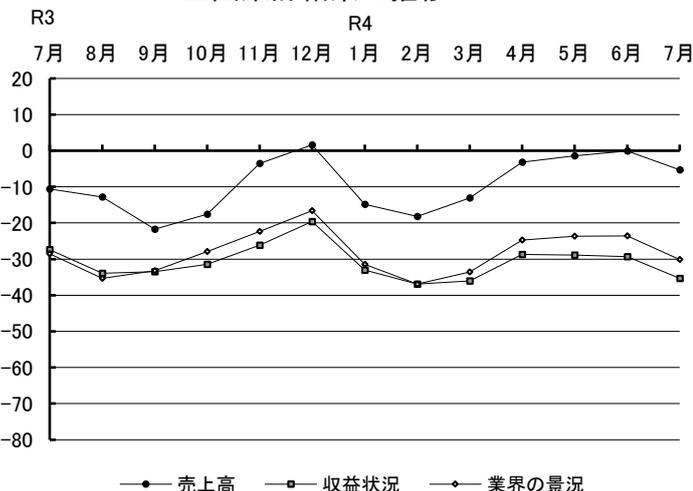
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より11.5ポイント上昇し、-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より6.0ポイント下降し、-35.3ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント上昇し、-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より6.5ポイント下降し、-30.1ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概 況-

7月の前年同月比DI値は、前月と比べ9指標中7指標が上昇した。主要3指標は「売上高」は32.7ポイント上昇、「収益状況」は11.5ポイント上昇、「業界の景況」が1.9ポイント上昇となった。

業種別・指標別にみると、製造業全体では「鉄鋼・金属」が特に下降し厳しい。半導体不足やコロナ禍の影響により稼働停止や減産が見られる。また、燃料・電気料金・人件費の高騰に合わせて人手不足の懸念もあり、厳しい経営状態が続いている。「木材・木製品」においては、売上は上昇傾向を維持しており材料価格の高騰を販売価格に転嫁できつつある。一部の原材料に関しては、依然として高値の状況は変わっていない。非製造業においては、「小売業(飲食業含む)」で燃料費の高騰とコロナ陽性者が急増し客足が鈍くなったため、依然として厳しいマイナス状態が続いている。

原材料・燃料費の値上げ分の価格転嫁がようやく進みつつあり、売上が上昇傾向にあるとの報告が各業界から寄せられている。しかし、未だ原材料等高値安定の状態が続いてるほか人件費の上昇や人手不足の問題、部品不足による減産など今後悪影響になる懸念が多くあり予断を許さない状況である。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	50.0	50.0	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	75.0	0.0	25.0	0.0	-50.0	0.0	25.0	-25.0	0.0
木材・木製品	25.0	-25.0	50.0	0.0	-50.0	-25.0	25.0	0.0	-50.0
印刷	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-50.0	25.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0	0.0	-50.0
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	25.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	50.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0
製造業	44.0	-12.0	36.0	-12.0	-32.0	-16.0	4.0	-4.0	-32.0
卸売業	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3		0.0	66.7
小売業	-14.3	-14.3	42.9	-42.9	-71.4	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	33.3		50.0	-16.7	0.0	0.0		0.0	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	-40.0	-40.0		-20.0	-20.0
運輸業	50.0		0.0	25.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
その他	0.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1	-10.0	29.6	-7.4	-18.5	-11.1		-3.7	-22.2
全体	26.9	-11.4	32.7	-9.6	-25.0	-13.5	4.0	-3.8	-26.9

図表2 【指標別DI値の推移】

	3年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
売上高	-7.7	-15.4	-25.0	-25.0	-17.3	-5.8	-3.8	-32.7	-17.3	-7.7	-3.8	-5.8	26.9	32.7
在庫数量	-20.0	-17.1	-25.7	-8.6	-8.6	-20.0	-5.7	-8.6	-20.0	-17.1	-14.3	-5.7	-11.4	-5.7
販売価格	3.8	0.0	-3.8	3.8	5.8	11.5	9.6	15.4	21.2	25.0	25.0	23.1	32.7	9.6
取引条件	-11.5	-13.5	-17.3	-11.5	-17.3	-9.6	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-9.6	-9.6	-9.6	0.0
収益状況	-21.2	-32.7	-30.8	-34.6	-30.8	-26.9	-26.9	-40.4	-38.5	-21.2	-23.1	-36.5	-25.0	11.5
資金繰り	-15.4	-23.1	-23.1	-21.2	-15.4	-13.5	-15.4	-26.9	-21.2	-13.5	-11.5	-13.5	-13.5	0.0
設備操業度	4.0	0.0	0.0	-8.0	-16.0	-4.0	-8.0	-28.0	-12.0	-20.0	-16.0	-20.0	4.0	24.0
雇用人員	-5.8	-7.7	-5.8	-15.4	-9.6	-7.7	-11.5	-11.5	-5.8	-7.7	-13.5	-13.5	-3.8	9.6
業界の景況	-25.0	-32.7	-36.5	-30.8	-19.2	-15.4	-38.5	-40.4	-30.8	-25.0	-23.1	-28.8	-26.9	1.9

特記事項

情報連絡員報告（令和4年7月分）

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	和洋菓子製造業	7月の中旬をすぎて、コロナ感染者数も多くなり売上等に影響が出てきた。
繊維工業	縫製業	受注は好調だが、コロナ前の60%位で昨年よりは良いが平常と比較すると悪い。
	絹・レース・繊維粗製品製造業	原材料の値上げが続いており、収益確保の為に価格の見直しを販売先に相談したところ、ほぼ承諾いただける状況。繊維業界も商品単価を上げていく方向で一斉に動いている様子が見られる。
木材・木製品	一般製材業	新規住宅需要の低下により、何とか受注した木材がやや過剰に余っている状態である。
	家具・建具製造業	売上は上昇傾向を維持しており、材料価格の高騰を販売価格に転嫁できつつある。一部の原材料は供給状況も好転し、価格も沈静化しつつあるが依然高値の状況は変わらない。
印刷	印刷業	ペーパーレス化の影響もあり需要が減る中、紙や資材が値上がりしており、経営を圧迫している。
窯業・土石製品	石灰製造業	鉄鋼・肥料関係は昨年に比べ若干増加した。 建材関係は、若干の減少。 全体では、昨年に比べ若干増加した。
	窯業・土石製品製造業	第1四半期の出荷量（4～6月）は、昨年同期比で3.0%増加しており堅調である。
鉄鋼・金属	金属製品製造業	自動車関連におきましては、受注量が回復傾向にあるものの再び、コロナウイルスの感染拡大、濃厚接触対象による休業が相次ぎ生産体制への影響や、猛暑による熱中症対策などに苦慮している。また、コロナの影響や海外研修生受け入れの遅れなどから人手不足の懸念も出てきている。各団体などの行事も中止が増えてきている。
	金属製品製造業	半導体不足やコロナ禍の影響により、稼働停止や減産がみられる。また、ガソリンや電気料金の値上がり、人件費の上昇など厳しい経営状況が続いている。
一般機器	一般機械器具製造業	半導体不足は解消されていないものの、回復の兆しも見えてきている。コロナ感染拡大により、取引先等においても感染対策のため出勤停止もあり、操業に影響が出ている。
	一般機械器具製造業	令和4年7月の報告は前年同月と比較し、売上高がやや微増、仕入れ資材の状況は引き続き高値安定が続いている。他は全般的に不変という結果であった。一部の企業では人材不足という声もある。
卸売業	各種商品卸売業	一部業種を除き全体として売上高、業況等は前年同期に比べ好転となっている。各社とも仕入単価上昇により販売価格も上昇している。
小売業	食肉小売業	全ての食品が値上がりしている中で、油脂・小麦が急激に値上がりしている。その上電気・燃料が30%UPしている為、消費者が買い控える傾向になっている。
	各種商品小売業	月後半、コロナ陽性者が急増すると明らかに客足が鈍くなった。前半好調だった分トータルでは前年を超えることができたが、夏休み期間中の売上は厳しいと予想される。

サービス業	旅館・ホテル	(宿泊) 国体前でスポーツコンベンション需要が続いている。(宴会) コロナ感染拡大でダウン(飲食) コロナ第7波によりグループ予約のキャンセルが相次いでいる。
	食品製造業	ここへきて、食材価格、エネルギー関連の値上がりが経営に対して悪化の一因を招いている。また、新型コロナウイルスの感染拡大がより激しさを増してきた。
建設業	総合工事業	建設資材の価格の値上がりが続いており、特に鋼材関係や油脂類が値上がりしている状況で今後の悪影響を懸念している。
運輸業	貨物自動車運送業	物流にはまだまだ勢いが戻らない中、自動車関連部品の荷動きが悪く、ここに来てコロナ感染増により先行きが不安である。
	貨物軽自動車運送業	7月中旬以降、荷動きが活発になり県内全域様々な業態からの受注が入り、組合員も月末まで多忙な状況であった。
	一般乗用旅客自動車運送業	6月までは、県内のコロナウイルス感染者が減少傾向であったが、一転7月コロナの変異株により、毎日の感染者が驚異的に増え、日中の人流はもとより夕方から夜間は殆ど人影がまばらとなってしまった。第7波に入ってから売上減少が著しくなっている。